



追加機能説明書

目次

MONTAGE Version 1.10 新機能	2
新パフォーマンスの追加	3
パフォーマンスプレイ (ホーム)	3
カテゴリーサーチ	4
ユーティリティ (Utility)	6
パートエディット (Edit)	9
ライブセットエディット (Edit)	10
ライブセット (Live Set)	11

MONTAGE Version 1.10 新機能

このたび、MONTAGEではファームウェアのバージョンアップにより、以下の機能が追加されました。
本書では、製品付属のリファレンスマニュアルに対して追加または変更となる点についてご説明します。

- 新規パフォーマンスを追加しました。
- パフォーマンスプレイ(ホーム)画面で各パートのタイプとカテゴリーを表示するようにしました。
- パフォーマンスプレイ(ホーム)画面およびミキシング画面で、アルペジオのホールド オン/オフの切り替えができるようにしました。
- パートカテゴリーサーチで、コピー元のパートにパート1以外を指定できるようにしました。
- パフォーマンスマージ機能を追加しました。
- MIDIシングルチャンネルモードを追加しました。
- データユーティリティー画面で、複数のコンテンツを一度に削除できるようにしました。
- ライブラリー領域のパフォーマンスをユーザー領域にコピーする機能を追加しました。
- エLEMENT/オペレーター/ドラムキーのコピー、入れ替えができるようにしました。
- ライブセットのバンク単位/ページ単位のコピー、入れ替えができるようにしました。
- ライブセットのページおよびスロットの切り替えを、MIDIのバンクセレクト、プログラムチェンジでできるようにしました。

新パフォーマンスの追加

パフォーマンスを新規に64個追加しました。
追加されたパフォーマンスはデータリストをご参照ください。

パフォーマンスプレイ(ホーム)

各パートの音源方式を表示するパートタイプ表示、およびアルペジオホールド状態の表示に対応しました。

Home (ホーム)



① Type/Name Switch (タイプ/ネームスイッチ)

各パートの種類とカテゴリを表示するか、パート名を表示するかを切り替えます。

設定値: Type、Name

② パートタイプ/パートネーム

各パートの種類とカテゴリ、またはパート名が表示されます。タッチすると、カテゴリ検索、エディット、コピーなどを行なうメニューが表示されます。

また「+」ボタンをタッチすると、パートを追加できます。

③ パートアルペジオ オン/オフスイッチ

パートごとのアルペジオ オン/オフを切り替えます。パートのアルペジオがオンで、かつアルペジオホールドがオンのとき、「Arp Hold On」と表示されます。

NOTE パートコントロール状態のとき、[SHIFT]ボタンを押しながらパネルのナンバー C [1]～[8]ボタンを押すと、そのパートのアルペジオホールドのオン/オフを切り替えることができます。

設定値: Off、On

カテゴリーサーチ

■ パートカテゴリーサーチ

複数パートで構成されるパフォーマンスから特定のパートの音色を選択して割り当てることができるようになりました。

手順

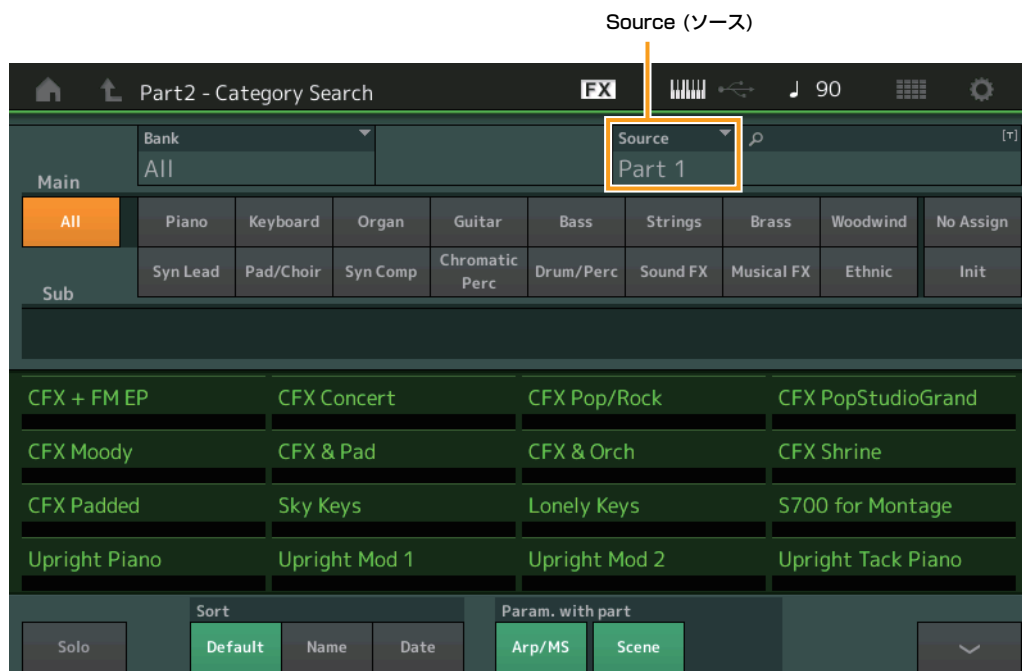
[PERFORMANCE] → パート選択 → [SHIFT] + [CATEGORY]

または

(すでに音色が割り当てられているパートを選択した場合)パートネームをタッチ → 表示されるメニューから[Search]を選択
(空のパートを選択した場合)「+」ボタンをタッチ

<V1.10変更点>

選択したパート以降がすべて空の場合、上記操作を行なうとパフォーマンスマージ画面に移動します。



Source (ソース)

パフォーマンス選択時、ここで指定したパートの音色が選択中のパートに割り当てられます。初期設定はPart 1で、この場合はV1.00と同じ動作となります。

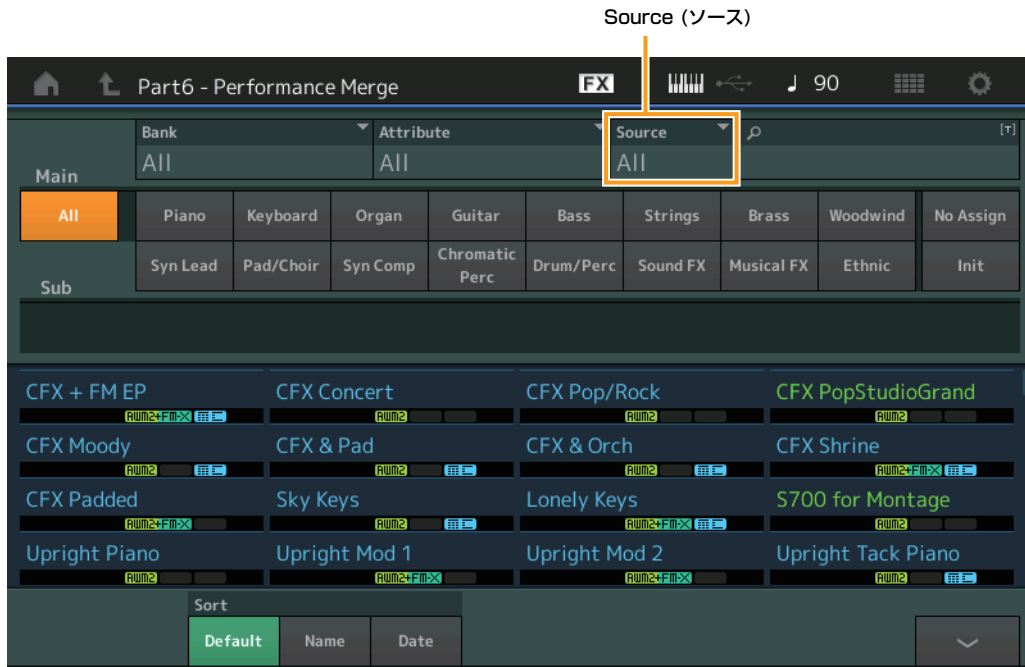
設定値: Part 1~16

■ パフォーマンスマージ

パフォーマンスマージ画面では、選択したパフォーマンスを構成する複数パートを、空のパートにまとめて割り当てることができます。例えば、4パート使用したピアノ音色と2パート使用したストリングス音色をレイヤーして、計6パートのリッチな音色を作る、といったことが可能です。

手順

[PERFORMANCE] → (自身を含む以降のパートがすべて空の)パート選択 → [SHIFT] + [CATEGORY]または「+」ボタンをタッチ



Source (ソース)

パフォーマンス選択時、ここで指定したパートの音色が選択中のパートに割り当てられます。

設定値: All、Part 1～16

All: 選択したパフォーマンスを構成するすべてのパートが、可能な範囲で空のパートに割り当てられます。

Part 1～16: 指定したパートの音色のみが選択中のパートに割り当てられます。

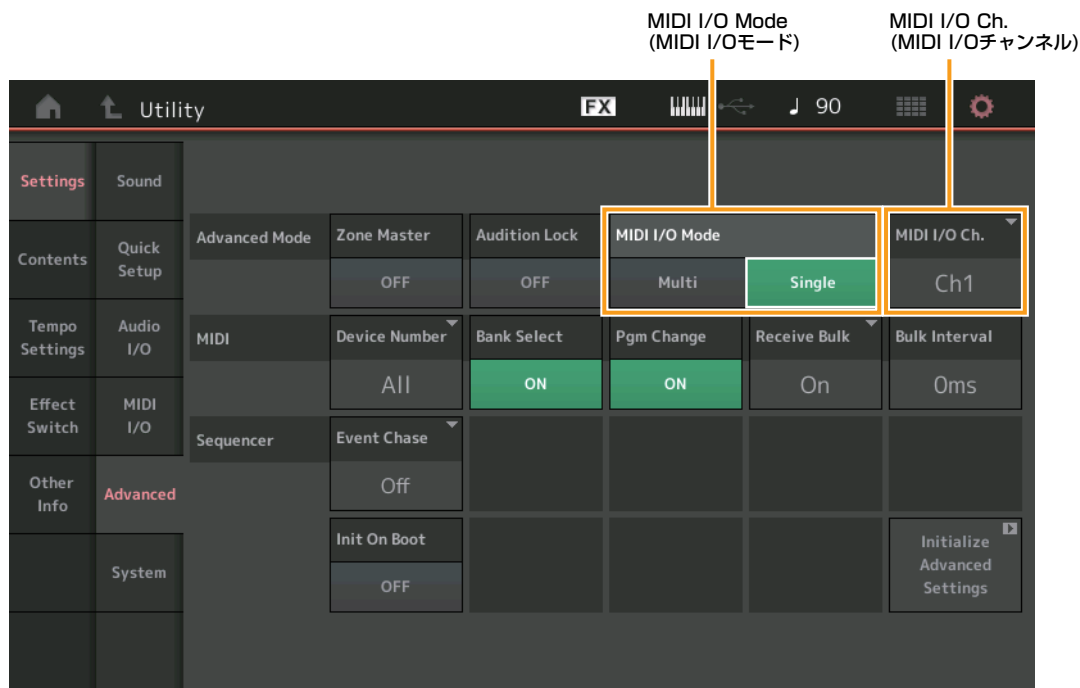
ユーティリティ (Utility)

Settings (セッティング)

Advanced (アドバンスド)

指定したMIDIチャンネルのみを使用して外部機器との通信を行なう機能が追加されました。

手順 [UTILITY] → [Settings] → [Advanced]



MIDI I/O Mode (MIDI I/Oモード)

外部機器とMIDI情報を送受信する場合にMIDIのチャンネルをどのように使うかを設定します。

設定値: Multi、Single

Multi: ノートオン/オフなどのMIDI情報を対応するパートごとに送受信します。

Single: 「MIDI I/O Ch.」で設定したチャンネルのみでMIDI情報の送受信を行ないます。

MIDI I/O Ch. (MIDI I/Oチャンネル)

「MIDI I/O Mode」が「Single」のとき、送受信に使用するMIDIチャンネルを設定します。

設定値: Ch1～16

NOTE 「Single」に設定した場合はアルペジオをMIDI出力できません。また、ゾーン機能が有効な場合は、「MIDI I/O Mode」の設定よりもパフォーマンスのゾーン設定が優先されます。実際に有効になっている設定がどちらかは、MIDI I/O画面の結線図で確認することができます。

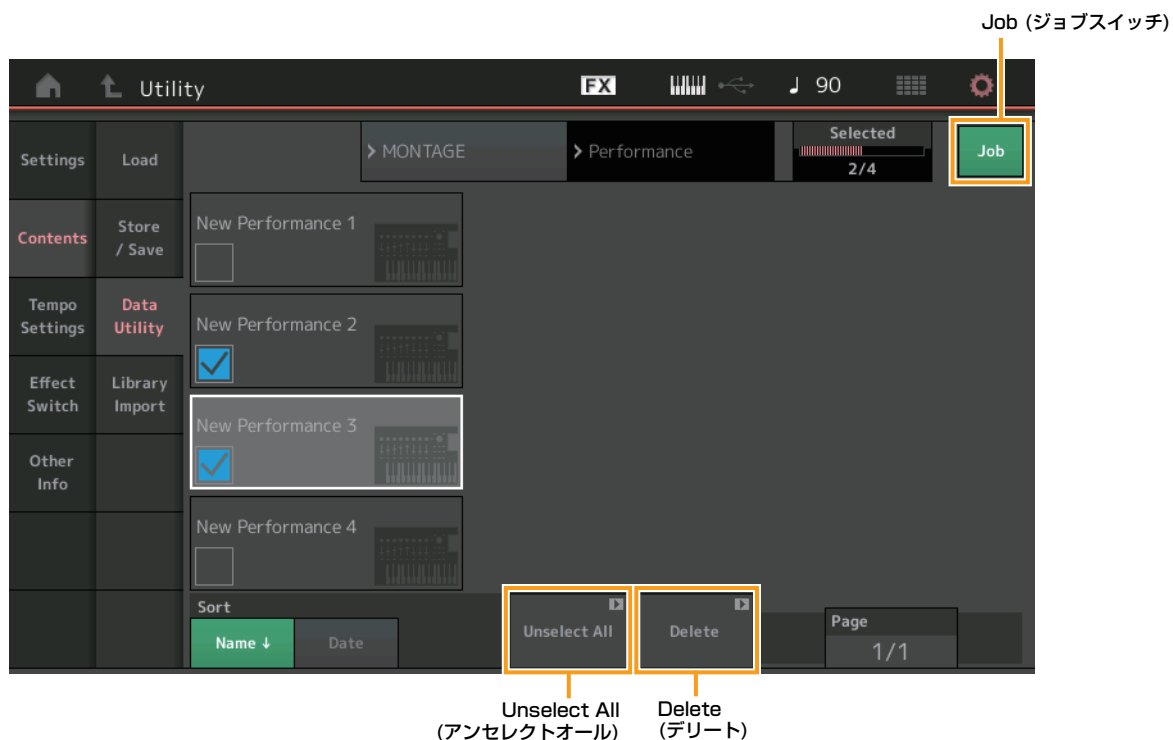
Contents (コンテンツ)

Data Utility (データユーティリティー)

パフォーマンスなどのユーザーメモリー内のコンテンツを複数選択してまとめて削除できる機能が追加されました。

手順 [UTILITY] → [Contents] → [Data Utility]

■ フォルダーを展開した場合



Job (ジョブスイッチ)

ジョブ機能を有効にする(On)か、しない(Off)かを設定します。この画面でジョブ機能が有効になると、コンテンツを複数選択できる状態になります。

設定値: Off、On

Select All (セレクトオール)

フォルダー内のコンテンツをすべて選択します。いずれのコンテンツも選択されていない場合のみ表示されます。

Unselect All (アンセレクトオール)

フォルダー内のコンテンツをすべて選択解除します。いずれかのコンテンツが選択されている場合のみ表示されます。

Delete (デリート)

選択されているコンテンツをすべて削除します。いずれかのコンテンツが選択されている場合のみ表示されます。

Library Import (ライブラリーインポート)

ユーザーメモリーに読み込んだライブラリーの中から特定のパフォーマンスを選択してユーザーバンクへコピーする機能が追加されました。

手順 [UTILITY] → [Contents] → [Library Import]

■ ライブラリーフォルダーを一覧した場合

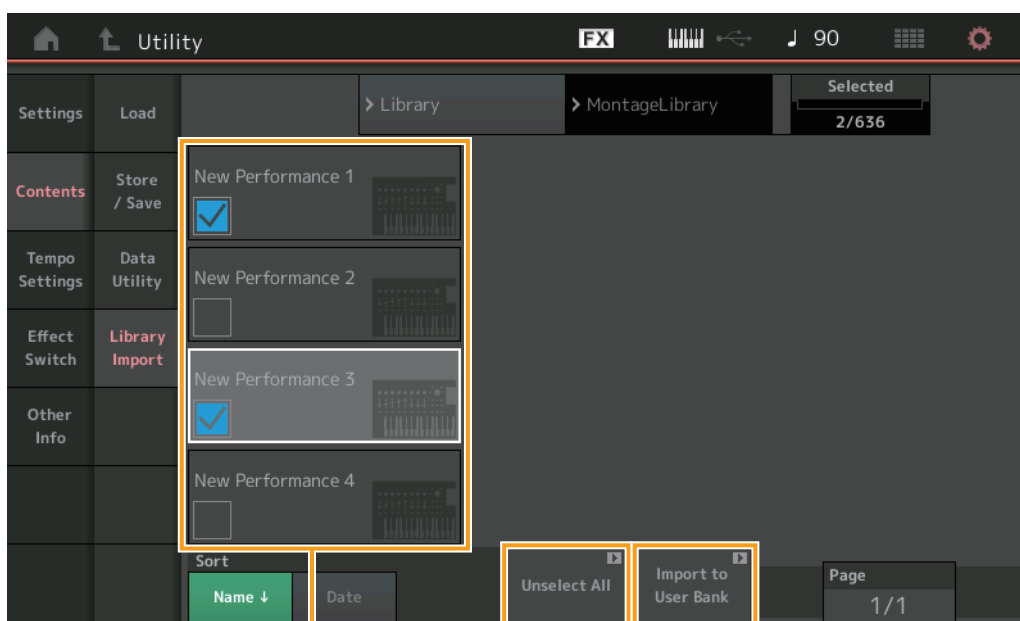


ライブラリーフォルダーセレクト

ライブラリーフォルダーセレクト

ライブラリーがフォルダーとして表示されます。タッチすると展開します。ロード画面でLibrary File (ライブラリーファイル)を読み込んだ場合のみ表示されます。

■ ライブラリーフォルダーを展開した場合



パフォーマンスセレクト

Unselect All
(アンセレクトオール)

Import to User Bank
(インポート トゥー ユーザーバンク)

パフォーマンスセレクト

現在選択中のライブラリーフォルダー内のパフォーマンスが表示されます。タッチすると選択/非選択が切り替わります。

Select All (セレクトオール)

現在選択中のライブラリーフォルダー内のパフォーマンスをすべて選択します。いずれのパフォーマンスも選択されていない場合のみ表示されます。

Unselect All (アンセレクトオール)

現在選択中のライブラリーフォルダー内のパフォーマンスをすべて選択解除します。いずれかのパフォーマンスが選択されている場合のみ表示されます。

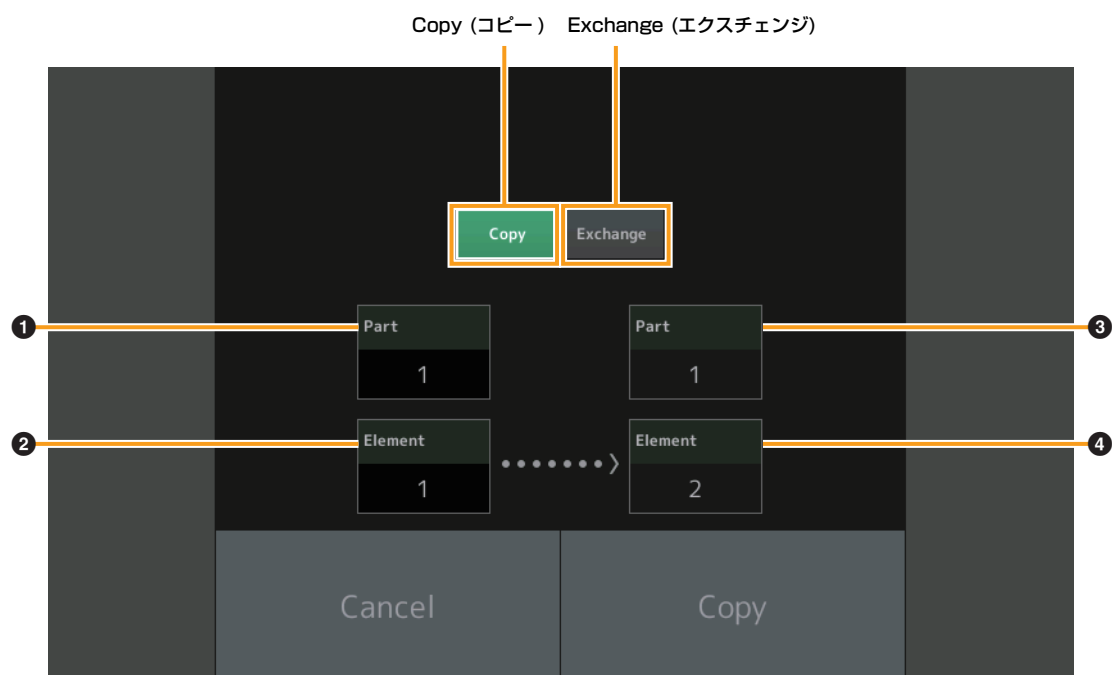
Import to User Bank (インポート トゥー ユーザーバンク)

選択されているパフォーマンスをユーザーバンクにコピーします。このとき、選択したパフォーマンスで使用されているユーザーウェーブフォームおよびユーザーアルペジオもユーザーバンクにコピーされます。いずれかのパフォーマンスが選択されている場合のみ表示されます。

パートエディット(Edit)

エレメント/オペレーター /ドラムキーのコピー (または入れ替え)を行なう機能が追加されました。

手順 [PERFORMANCE] → [EDIT] → コピーしたいエレメント/オペレーター /ドラムキーを選択 → [SHIFT] + [EDIT]



NOTE パートタイプが異なる場合、コピー (または入れ替え)を行なうことはできません。

Copy (コピー)

タッチするとコピー機能が有効となり、エレメント/オペレーター /ドラムキーのコピーができるようになります。

Exchange (エクスチェンジ)

タッチするとエクスチェンジ機能が有効となり、エレメント/オペレーター /ドラムキーの入れ替えができるようになります。

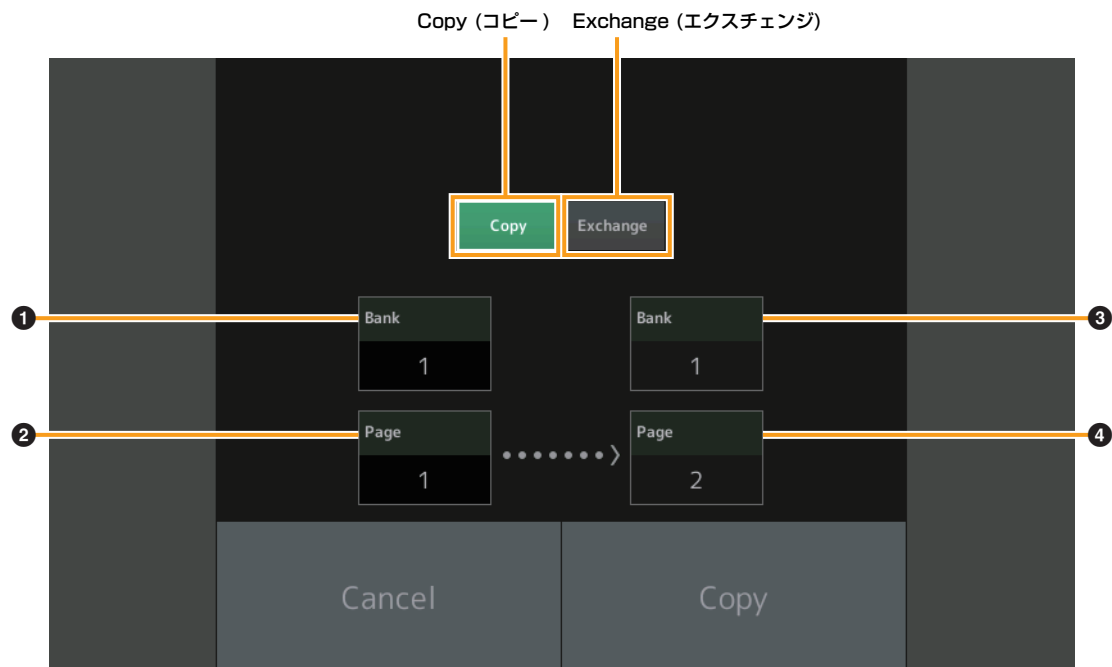
- 1 コピー (または入れ替え)元のパート
- 2 コピー (または入れ替え)元のエレメント/オペレーター /ドラムキー
- 3 コピー (または入れ替え)先のパート
- 4 コピー (または入れ替え)先のエレメント/オペレーター /ドラムキー

ライブセットエディット(Edit)

ライブセットをバンク単位/ページ単位でコピー (または入れ替え)を行なう機能が追加されました。

手順

[LIVE SET] → ユーザーバンク選択 → [EDIT] → コピーしたいバンク/ページを選択 → [SHIFT] + [EDIT]



NOTE 異なるバンク間でページのコピー (または入れ替え)を行なうことはできません。

Copy (コピー)

タッチするとコピー機能が有効となり、バンク/ページのコピーができるようになります。

Exchange (エクスチェンジ)

タッチするとエクスチェンジ機能が有効となり、バンク/ページの入れ替えができるようになります。

- ❶ コピー (または入れ替え)元のバンク
- ❷ コピー (または入れ替え)元のページ
- ❸ コピー (または入れ替え)先のバンク
- ❹ コピー (または入れ替え)先のページ

ライブセット(Live Set)

外部機器からプログラムチェンジを受信することでライブセットのロットが選択できるようになりました。

ライブセットのロットとバンクセレクトMSB/LSBおよびプログラムチェンジナンバーの対応は以下のとおりです。

MSB (HEX)		LSB (HEX)		Program No.	Live Set Slot
62	3E	00	00	0 – 15	Page 1, Slot 1 – 16
		1	01	0 – 15	Page 2, Slot 1 – 16
		2	02	0 – 15	Page 3, Slot 1 – 16
		3	03	0 – 15	Page 4, Slot 1 – 16
		4	04	0 – 15	Page 5, Slot 1 – 16
		5	05	0 – 15	Page 6, Slot 1 – 16
		6	06	0 – 15	Page 7, Slot 1 – 16
		7	07	0 – 15	Page 8, Slot 1 – 16
		8	08	0 – 15	Page 9, Slot 1 – 16
		9	09	0 – 15	Page 10, Slot 1 – 16
		10	0A	0 – 15	Page 11, Slot 1 – 16
		11	0B	0 – 15	Page 12, Slot 1 – 16
		12	0C	0 – 15	Page 13, Slot 1 – 16
		13	0D	0 – 15	Page 14, Slot 1 – 16
		14	0E	0 – 15	Page 15, Slot 1 – 16
		15	0F	0 – 15	Page 16, Slot 1 – 16